



経営学部生有志が、 第二回関西広域連合 若者世代による意見交換会 プレゼンテーションにおいて 準優秀賞を受賞しました

2017年9月8日(金)にとりぎん文化会館で開催された、関西広域連合主催の第二回若者世代との意見交換会のプレゼンテーションで経営学部7名のチームが準優秀賞を受賞しました。

第二回目となる今回は「人口減少社会に対する、関西の魅力向上策について」という課題に対し、8つの大学・大学院から9チームのプレゼンテーションがありました。

学生は鳥取県庁・鳥取県南部町役場・鳥取県南部町観光協会・株式会社緑水園の方々へのヒアリングを行い、『遊休資源の活用バイブル作り』をテーマに発表しました。



～鳥取県の“今”と、 課題への“挑戦”を学ぼう!～ 「鳥取学」のゲストスピーカー に平井伸治・鳥取県知事をお 迎えしました

2017年10月25日(水)、本学の総合教育科目として開講している「鳥取学」のゲストスピーカーとして、平井伸治・鳥取県知事をお迎えしました。

「鳥取学」は、「人と社会と自然との共生」を考察する基盤を、鳥取地域を題材として学ぶ1年次の必修科目で、鳥取地域の自然環境と歴史文化を総合的に理解することを目的としています。

鳥取県の“今”と、その課題への“挑戦”の観点についての平井知事による講義を、受講生は真剣なまなざしで受講しました。講義の最後には、受講生たちに向けて「Small is beautiful, Small is powerful. 小さいからこそ、つかめるチャンスがある!」と激励のメッセージを送られました。



環境学部4年 高橋 美佐紀さんが、 隔月刊「地球温暖化」 2018年1月号に掲載されました

「低炭素社会実現」を目指す提言誌「地球温暖化」は、CO2削減と新・省エネビジネスを推進するために、日報ビジネスが発行している環境情報誌です。

高橋さんは、自身が参加している青年環境NGO Climate Youth Japan(CYJ)でCOP23派遣事業の統括を務め、その取り組みが本紙に取り上げられました。

CYJはCOP16からユースの派遣を開始し、今回2017年11月6日から11月17日までドイツ・ボンで開催されたCOP23に、高橋さんを含めた8名が派遣されました。派遣された8名は、現地での活動の情報発信や海外ユースとの交流、ジャパンバピリオンでのワークショップの開催等を行いました。

高橋さんは「今後もCOP派遣を継続し将来世代の声を発信していくとともに、2020年の東京五輪に向けたサステナリンピック事業の活動も、より活発にさせていきたい」とコメントしています。



故 高橋 一 理事長兼学長お別れの会を執り行いました

公立鳥取環境大学 理事長兼学長 高橋 一 先生のお別れの会を、2017年9月27日(水)に、本学の11講義室において執り行いました。

お別れの会には、平井伸治鳥取県知事や深澤義彦鳥取市長をはじめ、鳥取大学学長豊島良太様、高橋先生と公私ともに長きにわたりお付き合いのあったハーバード大学

経営大学院教授竹内弘高様、県内外の大学・企業の理事長・代表の皆様など、300名を超える方々にご来場いただきました。

閉会后、先生のお好きだったカントリーミュージックを背に、ご来場の皆様のほか、本学学生や教職員も、高橋先生の祭壇に献花をして頂き、先生との別れを惜しみました。

